

(5 月 31 日) : 市場は 4 日続落

金曜日にホーチミン、ハノイの両市場は世界的なマーケットの変動と石油関連株の急落により、4 日続落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.98% 下げ、959.88 ポイントで引けた。

前日までの 3 日間で VN 指数は 0.60% 下げていた。出来高は 1 億 3,650 万株を超え、売買代金は 3.2 兆ドン (1 億 39 百万ドル) となった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.92% 下げ、104.35 ポイントで引けた。出来高は 28.2 百万株で、売買代金は 3,760 億ドン (1,590 万ドル) となった。

BIDV 証券 (BSC) によると、アメリカと中国の貿易戦争に改善の兆しが見えないことから、国内外の投資家が世界経済の見通しを懸念し、市場の調整が続き 4 日続落となったようである。

木曜日の夜に原油価格が下落したことを受けて、前場は原油関連株がさえなかった。原油価格は木曜日に 0.94% 下落し、1 バレル 69.45 ドルで引けた。

ベトナム市場では、GAS が 3.5%、PVS が 4.6%、POW が 2.9%、BSR が 2.2%、PLX が 2.6%、PVD が 5%、それぞれ下落した。

エネルギーセクターの下落は、不動産、農業、食品・飲料、物流、建設、銀行、保険、医薬品、魚介類加工など様々なセクターに波及した。

外国人投資家は HPG (416 億ドン)、VCB (263 億ドン)、PLX (260 億ドン) などを中心に、ホーチミン市場で 2,037 億ドンを買い越した。しかしハノイ市場では 10 億ドンを売り越した。

バオベト証券 (BVSC) によると、来週は VN 指数が 955-960 ポイント付近が支持線となり、下支えされるとみられる。VN 指数は 968-972 ポイントの抵抗線を目指し回復が見込まれる。

しかしながら、この支持線を割るようなことがあれば、935-945 ポイント、または 910-920 ポイントに向けて下落することも考えられるとのことである。

世界的に原油価格に調整圧力がかかっているので、石油、ガス関連株は今週、調整圧力に直面する場面もあると思われる。銀行や大型株の中には今週も下落基調を継続するものもあるだろうとのことである。

マーケットは足元下落基調にあるので、株式のエクスポージャーをポートフォリオの 20% 以下に下げることが同社は勧めている。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。